

単元名 7 価値を見いだす ―漢字に親しもう4
配当時間 1時間

単元の目標 (1) 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。
 学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、
 文や文章の中に使うことができる。
 (3) 積極的に漢字を読んだり書いたりしようとする。

標準的な展開例

10210219_001

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
1 練習問題に取り組む。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 漢字を使いこなそう。 ○ 新出漢字の確認をする。 ○ 練習問題に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時は、小学校6年生で習った漢字を中心に練習問題に取り組んでいくことを伝える。 ・ 言葉の意味が分からないときは、国語辞典等で調べさせるとよい。 ・ 「小学校六年生で学習した漢字」(p. 255)に合わせて取り組み、これまでに学習した漢字の書き取りをさせてもよい。 【評】 練習問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】

論理的な表現は、展開の中心となる意見を述べた部分とそれを支える具体例や引用などの付加的な部分などから構成されている。文章を要約したり要旨を捉えたりすることは、文章理解の上で重要な活動である。要約の仕方や要旨のとらえ方は目的に応じて変わる場合もあるが、ここでは第1学年ということを前提に、偏りなく要約し、要旨を捉える最も基本的な方法を学習させたい。